2024年度定時会員総会議事録

日時:2025/03/31

場所: Discord「オンライン猟遊会」定例会チャンネル

議題

- 1. 活動報告
- 2. 会計報告
- 3. 会員からの質疑
- 4. 役員の選任
- 5. 会員からの提起
 - a. マイルストーン目標の設定について
 - b. 日本狩猟協会のミッションモデルについて

活動報告

別紙、事業報告書を参照

会計報告

別紙、会計報告書を参照

会員からの質疑

とくになし。

役員の選任

今年度は任期途中のため役員の選任はありません。また、欠員もありません。

会員からの提起

マイルストーン目標の設定について by yunoda

初年度ということもあり目標設定が曖昧だったので新年度に向けて刷新したいです。今年度は以下で設定されていました。合わせて問題意識も併記します。

- ハンター保険をスタートさせる
 - 未達。
 - 狩猟業界における課題ではあるので、継続したい。
- 食肉処理場を具体化させる
 - 未達ではあるが、方向性は見えてきたので、無駄ではなかったと思う。
 - ただし、狩猟業界の課題として取り組むべきことかというと違うように思えました。 これは課題に対するソリューションではなく、どちらかというと個人のビジネスに基 づく個人タスクでした。すいません。
 - 上記のこともあり、食肉処理場問題はそもそも課題設定がズレている気がする...
 - 「食肉処理場が足りない」「食肉処理場を作るノウハウがない」「食肉処理場の個人使用ができない」…といった具合に何が問題かしっかりと定義した後にチャレンジする方向も具体的に決まってくるはず。
- 提携団体を6団体引き入れる(後にコミュニティ強化に変更)
 - 未達。
 - 漠然と数値目標を入れてしまったことが問題。
 - 一般社団法人はビジネス組織ではなく共益組織なので、インセンティブが働かないノルマ設定は無意味。
 - かといって後に変更した目標「コミュニティ強化」だと効果測定ができない。
 - サーバーのメンバー数はあくまで結果であり、目指すべきゴールにはならない。
 - 本来の目的は「オンラインでクローズに交流する場所が少ない」が課題意識だったはずなので、この課題は一応解決しているor解決に向かっているということでいいのかもしれない。
 - コミュニティを強化したいのはわかるが、なぜコミュニティは活発になるのか、その 必要要素を因数分解したほうがよさそう。
 - 仲間を見つけられる
 - 知識を共有できる ...etc.
- 無線オープンソース(後に追加)
 - 狩猟業界としてIoTの活用は常に課題としてあげられるので、この目標設定は非常に良いと思う。
 - ただし、なにがどうなれば目標達成なのかが全く定義されていない。今年度はより具体的にゴールを定めて取り組みたい所存。

マイルストーンと書いているがほんとにマイルストーンか?そもそもこの言葉選びから違う説もあります。

ミッションは「Update Hunting!」なので、課題のサンプルをあげるとすると、「紙ベースの書類が多い」「おじいちゃん達との連絡が電話でつらい」「知識の伝承が薄い」といった感じかと。

銀の弾丸を発明できるわけではないので、課題を完全に解決するという意味ではなく、「選択肢を増やす」という観点で目標を設定しましょう。

課題感をどこまでローカルに目線を落とすかが難しいかもです。あまり地域性が強い問題に取り組むと地域猟友会と変わらなくなる。全国的な課題の解決実験としてローカルでまず取り組むのはよい。

そうした点を踏まえて、以下で設定するのはどうでしょうか。

- 「オンラインハンター保険をスタートさせる」
 - ターゲット:新人ハンター、野良ハンター
- - ターゲット:現役ハンター
 - 犬トラッカーをまず攻略してみる?
 - そもそも友利さんがオープンソースとして着手しているのか意向を確認す るべき
- 「行政とプロジェクトを始める」
 - ターゲット: 行政
 - そもそも行政の課題ってなんでしょう
 - 行政は委託するしか方法がないが、選択肢が猟友会だけになっている。 うまく回っている地域と回ってない地域の差はなんだろう。
 - 猟友会がない地域はハンターの確保に困ってたりしない?そもそも猟友 会がない地域ってどこだろう。
 - 行政の困りごとの解像度が低いので、それを明確にするナレッジをまとめるだけでも十分価値がありそう。行政は自分が困っていることがわかってない可能性が大いにある
 - ↑の建付けで取材をすることで伝手を作るのもよさそう。
 - ミッションモデルに基づくと、行政は受益者ではなくパートナーなので、彼らに対する価値提案を目標にするのはズレている。
- 「狩猟研究誌をリリースする」
 - ターゲット:現役ハンター
 - Cosenseをベースにナレッジを集積する体制は徐々に整ってきたので、その中から研究余地のありそうなテーマを選択し、よりナレッジを広めるチャレンジをしてみてもいいかも。
 - たとえば、「猟犬を飼ってみた」「地元〇〇の獣害被害状況について」「ハンドロードの始め方」「忍び猟のすすめ」…みたいな感じ。
 - 物理本を配ってもいいし、PDF本を配布してもいい。本として形にすることがまず ゴール。
 - 非会員が執筆をきっかけに狩猟協会にジョインしてくれたらなお良し。

日本狩猟協会のミッションモデルについて by yunoda

一般会社におけるビジネスモデルのようなものを図示しておきたいです。取り組んでいる・取り組んでいないを一旦無視して以下にまとめます。これに対する率直な意見をいただきたいです。

実際に取り組んでいるプロジェクト	構想しているプロジェクト
ハンター保険 ハンターハウス ハンターコミュニティ ハンターナレッジ	24時間銃砲店 食肉処理場 ハンター図書館 犬トラッカー ハンター合本 ハンタートロフィー ハンターランク ハンターID 認定捕獲事業者



